



総務 常任委員会

小布施町の「小布施若者会議」を視察研修

交流人口の増加で町の知名度がアップ

委員長 石川眞男
副委員長 笠原則孝
委員 齊藤あけみ
筑井あけみ
島田あけみ

今回は、このメンバーで長野県小布施町と山ノ内町へ調査に行きました。ここでは小布施町の「小布施若者会議」を報告します。

● 小布施町の概要

長野県北部の人口1万1000人の小布施町。「忘れ去られた」寒村だったこの町はさまざまな人の「妄想と行動」の積み重ねにより、年間100万人以上の観光客が訪れる全国でも有名な町になりました。
(小布施若者会議パンフレットより)

● 「小布施若者会議」とは

- ① 小布施町は、東京理科大学、慶應義塾大学等と研究機関を設置してきた。
日米学生会議や地域づくりイベントなど若者交流事業の中から「小布施若者会議」が生まれた。
- ② 「若者が田舎に一堂に会し、新たな地方の価値や可能性を議論する場、それが全国に伝播することで、地方から日本を元気に。そして小布施の理解を深める」
- ③ 信州若者1000人会議をはじめ札幌、名古屋、京都、宮崎等全国に若者会議を拡大することができた。



小布施町での研修の様子



友好都市 山ノ内町の玉村町町民の森を視察

まとめ

昭和51年の「北斎館」会館以来、観光地づくりの成果と自信の上での小布施若者会議といえる。
町の魅力づくりは、自由、大胆で多様な発想、時間と根気それも世代をつなぐ多くの人々の努力の積み重ねであることがわかる。



こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のついで

その他